

# SERVICE NEWS

FUJI HEAVY INDUSTRIES LTD.

HEAD OFFICE; SUBARU BLDG.  
SHINJUKU, TOKYO, JAPAN

NO. 200-025

DATE 平成 25 年 1 月 30 日

(SUPERSEDES NO. )

REV.

DATE

(SUPERSEDES NO. )

REASON

## FA-200-180 型 飛行規程におけるエンジン始動手順について

飛行規程の全面改訂（平成 23 年 7 月 22 日付）において、「4-3 エンジン始動手順」項目（17 頁）のミクスチャア・レバーの操作に一部誤記があり、エンジンがかかりにくい手順になっておりますのでお知らせします。

なお、修正部位は下記のとおりであり、次回改訂時に飛行規程に反映しますので改訂前のエンジン始動手順（添付参照）によりエンジン始動を実施して下さい。

### 1. 4-3(5)項

誤)ミクスチャア・レバー ..... "RICH"

正)ミクスチャア・レバー ..... "IDLE CUT OFF"

### 2. 4-3(10)項追加

誤)4-3(5)項の誤りに連動し、旧版から削除した項目（現飛行規程にはない）

正)ミクスチャア・レバー ..... "RICH にして1~2秒保持し、IDLE CUT OFF に戻す"

### 3. 4-3(13)項追加

誤)4-3(5)項の誤りに連動し、旧版から削除した項目（現飛行規程にはない）

正)ミクスチャア・レバー ..... "始動したら、ゆっくりと RICH にする"



#### 4-3 エンジン始動

始動前、プロペラ回転面近くに障害物の無いことを確認する。

- (1) パーキング・ブレーキ ..... LOCK
- (2) 燃料開閉弁 (装備機のみ) ..... ON  
又は燃料切替弁 (装備機のみ) ..... “LEFT” 又は “RIGHT”  
(残燃料の多い方のタンクへ)
- (3) 総てのスイッチ ..... OFF
- (4) オルタネート・エア・ノブ ..... 一杯に押し込む
- (5) ミクスチュア・レバー ..... IDLE CUT OFF
- (6) スロットル・レバー ..... 目盛約 1 まで開く
- (7) ピッチ・レバー ..... “INC” 一杯に押す
- (8) マスター・スイッチ ..... ON
- (9) 補助燃料ポンプ・スイッチ ..... ON (燃圧上昇を確認)
- (10) ミクスチュア・レバー ..... RICH にして 1~2 秒保持し、IDLE CUT OFF に戻す
- (11) 点火スイッチ ..... BOTH
- (12) スタータ・スイッチ ..... START PUSH
- (13) ミクスチュア・レバー ..... 始動したら、ゆっくりと RICH にする
- (14) 補助燃料ポンプ・スイッチ ..... OFF (燃圧を確認)

#### 4-4 暖機運転

- (1) 油圧の上昇を確認する。同時にスロットルを調節してエンジン回転数を約 900~1000 rpm にセット、エンジン始動後 30 秒以内に油圧が 25 psi に達しない場合はエンジンを停止し、点検する。
- (2) 油圧上昇確認後、エンジン回転数を 1000~1200 rpm にセットして暖機運転を行なう。
- (3) エンジン計器 ..... 指度点検
- (4) \*無線機スイッチ ..... ON
- (5) 点火スイッチ点検  
エンジン回転数をアイドルに保ち、点火スイッチを瞬間的に “OFF” として、発火が一時的に止まることを確認した後、素早く “BOTH” へもどす。
- (6) フラップ ..... 作動点検  
(点検後 “0°” に戻す)
- (7) アイドル点検 ..... 650~750 rpm の範囲にあること。
- (8) 燃料切替弁 (装備機のみ) ..... 他のタンクへ切替